

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 4年 1月 22日

事業所名 放課後等デイサービス 夢の木 保護者等数（児童数）19 回収数 14 割合 73.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	7		十分なスペースとは言えないが、外遊びなどをたくさんしているので気にならない。少しスペースが狭いと感じる。公園や公民館などを利用して、色々活動ができています。	来年度に向け移設を検討しております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	4		利用人数が分からないので、適切かはわからない。	規定職員以上の配置をしております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	8		段差は感じないが、手すりがあるかはわからない。	現施設ではバリアフリーは限界があるため、移設を検討しております。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	2			
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	1		今年度から活動内容が良くなったように思う。子どもも活動を楽しみにしている。色々な体験ができるよう考えられており、子どもは楽しく成長できている。	ありがとうございます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	6	2	活動の内容を遊びばかりではなく、体験教室などあったらいい。交流する活動があるとは聞いたことがない。	色々なご意見や子ども達の気持ちを確認しながら検討致します。
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1	1	よく話を聞いてもらい助かる。トラブルがあった時の状況や対応の説明をしてくれデイでの子どもの様子がよくわかり、とお手も助かっている。先生達との日頃のやり取りはあまり感じられない（提供記録で知る程度）。	ありがとうございます。何か気になる様子があるときにはお伝えするようにしておりますが、知りたいことなどございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2		職員皆が1人1人の支援内容を考え相談、助言をしてもらい助かる。親身に話を聞いてくれ、成長と一緒に喜んでくれたりととてもありがたい。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	8	あまり希望はない。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	1		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1		送迎も融通をきかせてくれ、子どもの気持ちも察して配慮してくれる。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14				
	14	個人情報に十分注意しているか	12	2			
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	8			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	7	2	行われているかわからない。 子どもからも職員からも聞いたことがない。	マニュアルを作成し、全員に周知しております。年1回の訓練を行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3		「行きたい」と言う時と、「行きたくない」というときがある。毎日楽しみにして	楽しく成長できる場所になるように努めてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	12	2		子ども一人一人としっかり向き合って話をしているととても嬉しいです。	楽しく成長できる場所になるように努めてまいります。

○この「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 1月 22日

事業所名

放課後等デイサービス 夢の木

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1		・2つの部屋に分かれて支援しているため、適切な環境ではあるが一部屋だけでは狭い。 ・使用中、勉強中などのボードを作成する。 ・人数に対して部屋が狭いので移設する。
	2	職員の配置数は適切である	3			・職員数時には足りているが、個別対応の児童が多いときは不足と感じることがあるので配慮する。 ・少しずつでも少数で活動できる支援が必要。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2		・少し足りないので移設する。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1		・日々の振り返りを行い、次にどのような支援をしどのような結果ができるか協議している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		・保護者向け評価表があることを知らなかったが、今回の評価を参考に業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2		・現場職員には見えない、実感できていないが監査では特に指摘はない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		・現場職員のニーズから子どもの実態把握、支援の検討を10月に10日ほどもった。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		・公共の場を利用する際の行事計画は、小規模から少しずつステップアップできる計画を立て挑戦している。 ・現場ではそれが見えず、実感できていなかったで上記のような個別支援会議を実施した。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2			・10月に5日ほど行った支援会議では「イン・チャイルドレコード」を使用、子どもを捉える観点を明確にした。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・10月に実施したが、その振り返りや支援の見直し等が継続されていない。 ・月ごとに行事計画案を立て活動プログラムを作ることができてい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・室内活動は特にルーティン化しやすいが、ルールやマナー約束事は子ども運に寄り添いつつもメリハリをつけている。 ・正職員の役割が明確でない、把握できていない。 ・児童の興味、関心のあることを優先させているが、それが固定化していることもある。 ・みんなで意見を出し合い、固定化しないようにできていると思う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		・特性が目立つ児童については日々課題があり、改善に向けて支援しているが落ち着いている子どもについては現状維持になっていることがある。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		・職員間での計画書は作成していないが、ミーティング等で個別・集団の配置確認、支援内容を話し合っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・前月の様子や一週間の様子を情報共有し、子どもたちの支援を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		・その日気になったことは必ず職員間で話し、振り返り情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			・児童の行動を注意深く観察し、その子の強みを発見するための余裕ある支援体制づくり。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	2		・いろんな分野での組み合わせ支援は行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			・この会議の存在を知らなかった。海 の存在は聞いて知ってはいるが更に旗振り役を行うことが子どものために必要。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1		・10月に放デイで支援会議を行った際、その存在を資料を見て知った。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		・入社してまだ日が浅い為受けていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		・良いこと、良くないことは情報共有し支援に繋げていけるように心がけている。 ・保護者との窓口は1つに統一したほうが行き違いがないと考え、個人的には保護者に伝えていない。責任者、主任又は自発管の業務だと思ふ。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2		・相談やアドバイスの的なことをやっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1		・個人的には独断ではないようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		
	35	個人情報に十分注意している	5			・注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		